

[特集2]

令和4年度版 高等学校『美術1』の ご案内



光村の高等学校『美術1』の教科書が生まれ変わりました。
目ざしたのは、高校生がもっと「つくってみたい!」「見てみたい!」と思える教科書。
本特集では、編集に携わった先生方に、
新版教科書の魅力をご紹介します。

編集委員が語る/
新版教科書 **ここ**がおすすめ!



み さわ あつ ひこ
三沢厚彦 (彫刻家)

表現のヒントになる「作家の手法」

「作家の手法」というページをぜひご覧ください。さまざまな作家が作品をどう発想し、どのように制作しているのかが詳しく紹介されているので、高校生が作品を考える際に参考になるのではないのでしょうか。私は、このページのために新作に取り組みました。

P.14



やす むら とし のぶ
安村敏信 (美術史家・北斎館館長)

本物に近い風合いを味わえる鑑賞題材

新版教科書では、鑑賞題材の見せ方に工夫を凝らしています。例えば、日本美術の作品は、和紙風の用紙に印刷されており、本物に近い風合いを味わうことができます。

P.15



かわ かみ のり こ
川上典李子

(デザインジャーナリスト, 21_21 DESIGN SIGHT アソシエイトディレクター)

充実したデザイン題材

特に「比べて鑑賞する スプーンのデザイン」がおすすめです。先の曲線や角度、柄の長さ、材料もさまざま。形や色の異なるたくさんのスプーンを比較鑑賞することで、使う場面や目的によるデザインの工夫を理解できるでしょう。

P.16



な とり かず ゆき
名取和幸

(色彩学研究者・一般財団法人日本色彩研究所常務理事)

色の世界が広がる「混色のヒント&色彩図鑑」

色の資料がさらにパワーアップしました。巻末には、「混色のヒント」と「色彩図鑑」と題した、切り離し式の資料がついています。表現や鑑賞の際に手軽に参照でき、色の世界が広がっていくでしょう。

P.17

表現のヒントになる「作家の手法」

高校生の発想・構想のヒントとなるよう、「作家の手法」というページを設けました。
画家、彫刻家、デザイナーなど第一線で活躍している作家が、
作品をどう発想し制作しているのかを詳しく紹介しています。



みさわ あつひこ
三沢厚彦
彫刻家

おすすめポイント /

このページの作品「Animal-2020-01」は、新版教科書のために手がけた新作です。
編集部が何度もアトリエに来て、作品ができるまでの過程をしっかりと取材してくれました。
制作過程はもちろん、アイデアスケッチや、私が普段どのようなことを考えながら
作品をつくっているのかも詳しく紹介されています。
高校生が作品をつくるときのヒントにしてもらえたら嬉しく思います。

P.40~41「生命感をあわす 作家の手法 三沢厚彦」



POINT アイデアスケッチや、作家の言葉を掲載

作家が作品をどのように発想しているのかがわかります。

POINT 制作過程を詳しく

制作の過程を編集部が密着取材し、詳しく紹介しています。

★「作家の手法」紹介作家一覧

- | | |
|--|--------------------------------------|
| あさ い ゆうすけ
浅井裕介(画家) P.4~5 | 三沢厚彦(彫刻家) 新作 P.40~41 |
| なかしま ちなみ
中島千波(日本画家) 新作 P.8~9 | さとう たく
佐藤卓(グラフィックデザイナー) P.50~51 |
| つ かみ
津上みゆき(画家) P.24~25 | ひろ むら まさあき
廣村正彰(グラフィックデザイナー) P.53 |
| えん どう あき こ
遠藤彰子(画家) P.28~29 | みな がわ あきら
皆川明(デザイナー) P.57 |
| よこ お ただり
横尾忠則(美術家) P.35 | い どう ゆういち
伊藤有壹(アニメーション作家) P.76 |

本物に近い風合いを味わえる鑑賞題材

うんりゅうず ちようじゅうじんぶつ ぎ が こうかん
「雲龍図」,「鳥獣人物戯画 甲巻」,
しよこくたきめぐ しもつけくろかみやま たき
「諸国瀧廻り 下野黒髪山きりふりの滝」は、和紙風の用紙に印刷しました。
色合いや質感を、より本物に近い風合いで鑑賞することができます。

おすすめポイント /

日本美術の多くは、当時使われていた和紙に描かれていますので、
和紙のような風合いの用紙に印刷することで、ぐっと本物に近い感覚で
鑑賞することができます。例えば、曾我蕭白の傑作「雲龍図」。
墨一色で大胆に描かれたこの作品の、深みのある墨の色やにじみのおもしろさを、
高校生にじっくりと味わってほしいなと思います。



やすむら としお
安村敏信
美術史家・
北斎館館長

P.12~14「墨で描く」



POINT

和紙のような質感

実際に手で触ると、質感の違いがよくわかります。



P.15~18「絵巻物を楽しむ」

POINT

「鳥獣人物戯画 甲巻」を
全て掲載

「鳥獣人物戯画」の中でも特に人気のある甲巻を、
初めから終わりまで全て掲載しました。
動物たちの生き生きとした表情や
軽やかな筆づかいなどを、臨場感をもって鑑賞できます。

鑑賞を深められるよう、適宜吹き出しで解説を入れています。



充実したデザイン題材

生徒が取り組みやすいよう、デザイン題材を刷新しました。
「比べて鑑賞する スプーン的设计」という、
デザインの鑑賞題材も設けています。



かわかみのりこ
川上典李子
デザイナーナリスト・
21_21 DESIGN SIGHT
アソシエイトディレクター

おすすめポイント

高校生に身近なデザインにも目を向けてほしいと思い、スプーンを比較鑑賞するページを設けました。幼児でも持ちやすいスプーン、カレーを味わうためのスプーン、アイスクリーム用のスプーンなど、たくさんのスプーンを掲載しています。使う場面や目的によって材料や形にさまざまな工夫が凝らされていることを、この題材から実感的に理解できるのではないのでしょうか。

色の世界が広がる「混色のヒント&色彩図鑑」

新版教科書では、「色の性質」「色の効果」「配色のヒント」など、色に関する資料を豊富に掲載しています。さらに、巻末には切り離し式の資料もご用意しました。



なとりかずゆき
名取和幸
色彩学研究者・
一般財団法人
日本色彩研究所
常務理事

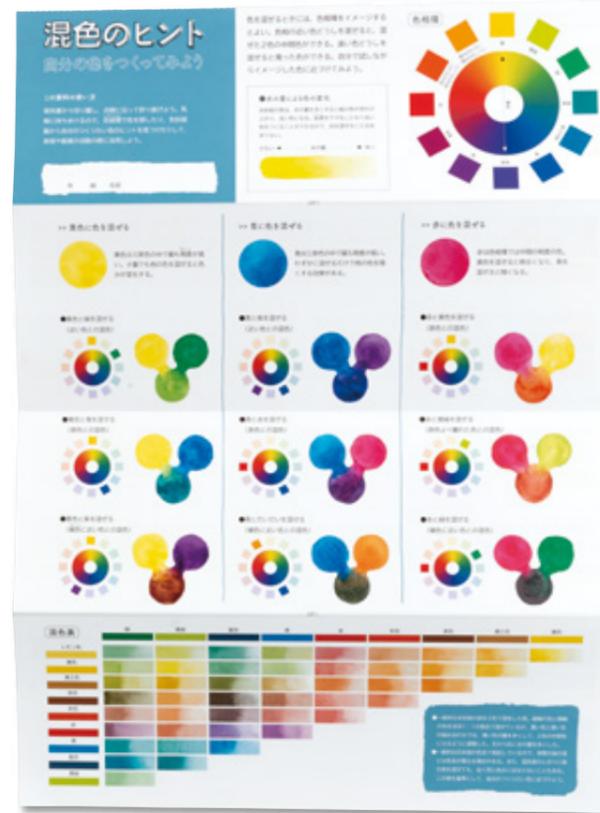
おすすめポイント

巻末の切り離し式「混色のヒント&色彩図鑑」がおすすめです。表面の「混色のヒント」は、色相環を意識してどのような色になるかを考えるためのヒントを示しています。裏面の「色彩図鑑」では、日本と西洋の代表的な伝統色を紹介しています。この資料は切り離して気軽に持ち運べるので、絵を描くときや作品を鑑賞するときなど、さまざまな場面で活用してほしいですね。

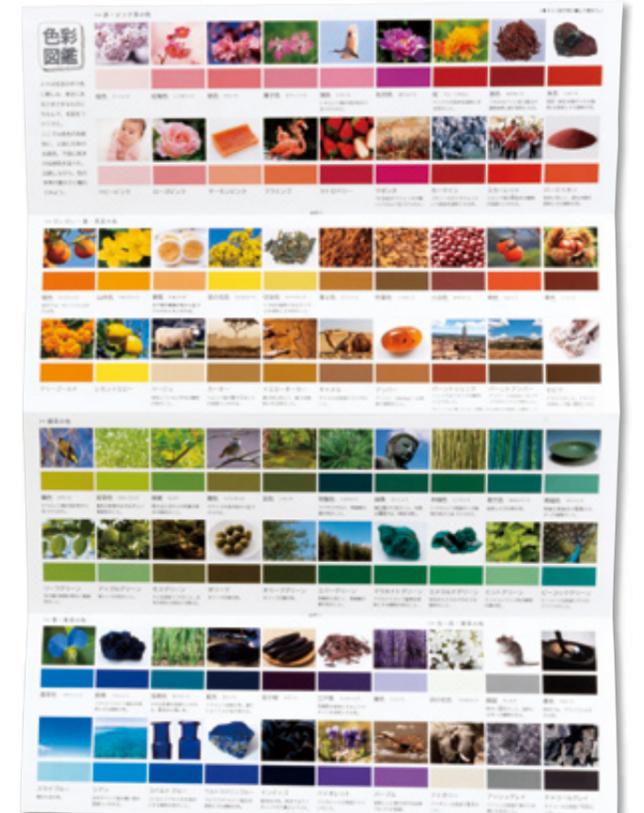


P.60~61 「比べて鑑賞する スプーン的设计」

●表面：混色のヒント



●裏面：色彩図鑑



POINT 22点のスプーンを掲載

それぞれを比較することで、使う場面や目的によってデザインが工夫されていることがわかります。

デザイン題材は、ポスター、ロゴマーク、パッケージのデザインなど、授業で取り組みやすいものを精選しました。掲載している作例は、語り継がれる名作から、最新のデザインまで幅広く扱っています。

右：「ヒロシマ・アピールズ」「ヒロシマという重石」
左：アイデアスケッチ



表現活動の際に手元に置いて、混色して色をつくる際の目安にすることができます。



POINT

持ち運びやすい

折りたたむとコンパクトになり、絵の具セットに入れておけるサイズに。いつでもどこでも気軽に参照できます。



「日本の伝統色」「西洋の伝統色」を対比して掲載。色を選ぶときのヒントになるほか、色名の由来も知ることができます。



スカレット
ベルシニア産の落染めの織物が起源といわれる。